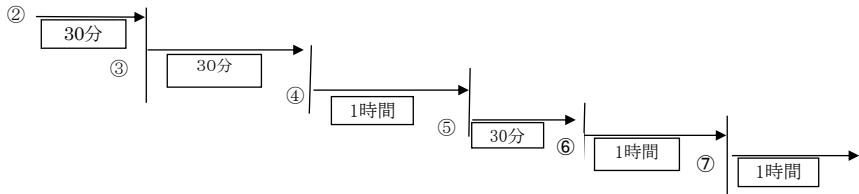


		身長	\$HEIGHT01_Doc	cm
指示者	@USERNAME	体重	\$WEIGHT01_Doc	kg
コース数		体表面積	#VALUE!	m2

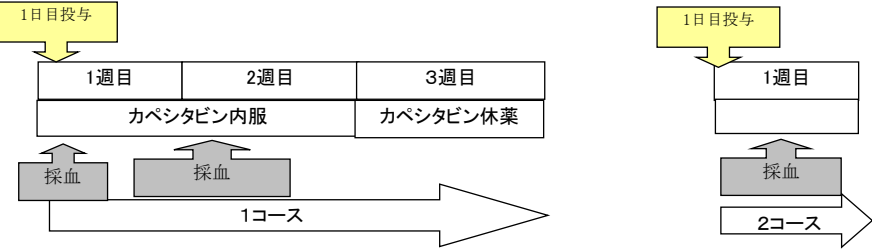
実施印

		day1	day2	day3
①	薬物/実際の投与量 カペシタビン(300mg) ()mg/body 2× 朝()mg 夕()mg #VALUE! 計算値 最小単位300mg 投与量は下の表を参照してください	投与時間 2週間内服 (day1-14)	投与経路 内服	カペシタビン服用開始(2週間服用1週間休み)
②	グラニセトロン3mg1バッグ ホスアプレピタント1V デカドロン3.3mg3A	30分	点滴	
③	キイトルーダ200mg 生食50mL ()mg/body	30分	点滴	
④	ゾルデム1 500mL 硫酸マグネシウム8mL KCL10mL(0.5A)	1時間	点滴	
⑤	マンニトールS200mL(1Vから100mL捨てて)	30分	点滴	
⑥	生食250mL ランダ80mg/m2 ()mg/body #VALUE! 計算値 最小単位5mg	1時間	点滴	
⑦	ゾルデム1 500mL KCL注10mL(0.5A)	1時間	点滴	
⑧	デカドロン(0.5mg)8錠2×朝食後3日分 day2-4		内服	day2-4で内服

day1
カペシタビン内服開始(2週間服用1週間休業)



スケジュール



注意事項
 心不全のある患者さんは十分に注意を行う

〈ゼローダの減量時1回投与量〉

体表面積	1回投与量(錠数)		
	初回投与量	減量段階1	減量段階2
1.36㎡未満	1,200mg (4錠) 2,400mg (8錠)	900mg (3錠) 1,800mg (6錠)	600mg (2錠) 1,200mg (4錠)
1.36㎡以上1.41㎡未満	1,500mg (5錠) 3,000mg (10錠)	1,200mg (4錠) 2,400mg (8錠)	
1.41㎡以上1.51㎡未満	1,800mg (6錠) 3,600mg (12錠)		900mg (3錠) 1,800mg (6錠)
1.51㎡以上1.66㎡未満	2,100mg (7錠) 4,200mg (14錠)	1,500mg (5錠) 3,000mg (10錠)	1,200mg (4錠) 2,400mg (8錠)
1.66㎡以上1.81㎡未満			
1.81㎡以上1.96㎡未満			
1.96㎡以上2.11㎡未満			
2.11㎡以上			



V 症状別対処法

症状	対処法	注意点
色素沈着	処置の必要なし	日焼けは避ける
紅斑、腫脹	患部を冷やす。炎症がある場合はステロイド外用剤または消炎剤の内服薬を服用する	患部を温めない
皮膚の硬化	保湿（こまめにクリームを塗る）	
亀裂（ひび割れ）	保湿剤とステロイド外用剤による局所療法。亀裂部分には軟膏を厚めに塗る。患部に過度な圧力・摩擦をかけない	
痒痒	軽症のうちは保湿剤のみ、有痛性の場合は保湿剤とステロイド外用剤による局所療法	
水疱	有痛性の場合は保湿剤とステロイド外用剤による局所療法。水疱が破れた場合にもできるだけ水疱蓋を残し、その上からステロイド外用剤を塗り、冷やす	患部を温めない
びらん、潰瘍	保湿剤とステロイド外用剤による局所療法、二次感染に留意しながら皮膚を清潔に保つように心がける	患部を温めない
爪の症状	変色・変形のみの場合は無処置、有痛性の場合はステロイド外用剤による局所療法	

V-2 使用薬剤

【局所治療】

種類	薬剤名
尿素含有製剤	ウルバール® ケラチナミン® バスタロン® など
ヘパリン類似物質含有製剤	ヒルドイド® ヒルドイドソフト® など
ビタミン含有軟膏	ゼーネ®（ビタミンA含有） ユベラ®（ビタミンE含有） など
グアiazアズレン含有軟膏	アズノール®
白色ワセリン	
ステロイド外用剤（strong以上を推奨）	デルモベート® シフラーール® アンチベート® マイザー® リンデロン® など

- ・シャワー入浴後など、皮膚が湿っている（乾燥していない）状態で塗る
- ・使用薬剤は、患者さんに合ったものを使う

【全身療法】

種類	薬剤名
非ステロイド性消炎鎮痛剤（内服）	ロキソニン® ボルテン® など

※各薬剤の使用に関しては添付文書をご参照ください。

**【軟膏】【クリーム】
【ローション】の
使い分け**

- ・基本的に「軟膏」（ワセリン基材）を用いる
- ・「クリーム」は防腐剤を含有し刺激性が強い、湿潤面には使用できない
- ・「ローション」は塗り心地がよいが軟膏に比べて持続性で劣る